

ただいま、卒業証書を授与いたしました定時制課程卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

保護者並びにご家族の皆さま、本日は誠におめでとうございます。これまで本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、本日卒業の日を迎えた皆さんは、入学当初より臨時休業や分散登校となり、普通に学校生活を送ることができない日々を強いられました。また、学校に来ることができるようになって、予定されていた行事の中止または延期が相次ぎ、まさに皆さんの高校生活は、新型コロナウイルス感染症の影響をまともに受けた3年間だったのではと思います。

しかし、そのような中においても、皆さんは互いに教え合い、励まし合いながら、本校定時制での学びを継続し、常に優秀な成績を収めてこられました。また、希望進路の実現に向けて努力を重ね、それぞれ、進学先の合格を勝ち取りました。この3年間の地道な取組みは、他の模範とするところであり、その努力と成果に対して深く敬意を表したいと思います。

話は変わり、私事で恐縮ですが、私の趣味の一つに映画鑑賞があります。映画は私たちに色々なことを教えてくれます。最近鑑賞した中で感銘を受けた映画が3つあります。1つ目はトム・クルーズ主演のアクション映画「トップガン マーヴェリック」、2つ目は革新的な3D映像で大ヒット作となった「アバター ウェイ・オブ・ウォーター」、そして3つ目は今も記録的な動員を続けているアニメーション映画「ザ ファーストスラムダンク」です。

「トップガン マーヴェリック」では、トム扮する戦闘機のパイロット、マーヴェリックが、「Don't think, Just do.」という言葉をよく口にします。「考えるな、行動しろ。」・・・「あれこれ考えていないで、まず行動しよう。アクションを起こそう。」という意味です。失敗しないように人生を過ごすためには、慎重に判断をしたり、マニュアル通りに行動したりすることも重要です。しかし、これからの予測不能な時代においては、一瞬の判断を迫られるような場面に何度も遭遇するかもしれません。そんなときは、自分のこれまで培ってきた経験を信じ、直感を信じて行動してみてください。あなたたちの直感は決して間違っていないはずです。

「アバター ウェイ・オブ・ウォーター」は、これまで「ターミネーター」や「エイリアン」、「タイタニック」といった名作を生みだしてきたジェームズ・キャメロン監督の作品ですが、彼はこの作品に、今を生きる若い世代へのメッセージを込めたそうで、「新たな環境に馴染むことができず、不安を抱く時がある。そのような葛藤を抱える若い世代にこの映画を見てもらい、自分だけではなく、同じ悩みを抱えている人がいるのだということに気付いてほしい」と語っています。映画の中での「I see you.」というセリフは、単に「あなたが見える」と

ということだけではなく、「あなたのすべてを理解している。あなたを受け入れる。」という深い意味があるそうです。これから迎える新たな環境においても、少しの躓きで決して臆病になったり悲観したりしないでください。あなたたちを理解し、受け入れてくれる人が必ず存在します。

「ザ ファーストスラムダンク」は、今から 33 年前の 1990 年より雑誌に連載されたバスケットボール漫画「スラムダンク」の劇場版ですが、「スラムダンク」の名言といたら、顧問の安西先生のこの一言に尽きます。「あきらめたらそこで試合終了ですよ・・・？」そう、あきらめたらそこで試合は終了です。これからも、自分の目標に向かってチャレンジし続けてください。

それでは、皆さんの前途が明るく、幸多いことを心からお祈りして、式辞といたします。卒業生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。